

議会 BCP 検証検討会議 最終報告

令和 7 年（2025 年）3 月 18 日

議 会 B C P 検 証 検 討 会 議

1 今年度の目的

- 1 令和5年度議会BCP検証検討会議から報告(令和6年3月21日付け最終報告書)されている議会機能継続訓練における課題の対応方策を検討すること。
- 2 令和6年度の議会機能継続訓練について検討すること。
- 3 議会機能継続計画の見直し・改訂に着手すること。

2 推選委員

座 長	あしや政風会	岩岡 りょうすけ 副議長
委 員	あしや政風会	福井 利道 議員
	日本共産党芦屋市議会議員団	ひろせ 久美子 議員
	公明党	田原 俊彦 議員
	日本維新の会	浅海 洋一郎 議員
	至誠会	西崎 薫 議員
	芦屋しみんの未来	たかおか 知子 議員(第1回のみ)

3 会議内容

	日 時	内 容
第1回	令和6年6月28日	・目的・推選委員の確認 ・協議検討事項について ・今後の予定について
第2回	令和6年8月30日	・BCPマニュアル等の修正について ・今年度の訓練について
第3回	令和6年9月20日	・今年度の訓練について ・BCPマニュアル等の修正について
第4回	令和6年11月22日	・今年度の訓練について ・BCPマニュアル等の修正について
議会機能 継続訓練	令和7年1月20日	・在庁時に地震発生の場合の行動と危険物の確認 ・発災後の庁舎外への避難経路確認 ・市役所周辺の防災施設等の確認
第5回	令和7年2月10日	・今年度の訓練での振り返りについて ・BCPマニュアル等の修正について ・報告書(案)について
全体協議会	令和7年2月14日	中間報告
代表者会議	令和7年3月18日	最終報告

4 議会機能継続訓練での課題の検証結果

訓練への意識について		対応方策
1	今回の訓練の反省点を踏まえ、訓練に対する議員全員の認識を再度徹底すべき。	議員各自の意識の向上を図るため、訓練前の全体協議会での説明後に各ブロックで確認しあう場を設ける。
2	事前の丁寧な説明・入念な訓練内容の確認が必要。	
3	訓練の際には、ブロック長会議とはなにか、ブロック活動とはなにか、ということを冒頭に話し、意義や役割を再認識してはどうか。	
訓練内容について		対応方策
1	自力で動けない人を簡易担架に乗せるなど、負傷者のケースに合わせての対応訓練も必要ではないか。	1～5、7～10 今後の訓練内容に適宜組み込んでいく。 6 今年度の訓練内容の検討の際に、簡素化した訓練も含めて協議する。
2	LINE は見にくい。	
3	災害情報をもっと具体的に設定した方が訓練しやすかった。	
4	全員が写真を送れるように訓練したり、例を挙げて状況の報告内容を分担したりするとよかった。	
5	オンライン参加者の承認、確認の結果について挙手アイコンを挙げさせ、録画しておくなどの工夫が必要。	
6	内容は簡素化して、訓練の実施回数を見直す（例えば会期毎など頻度を増やす）。	
7	会期中の発災、遠方出張など起こりうる状況を想定した訓練の積み重ねが必要。	
8	実地での訓練も必要。	
9	報告書の「場所」の欄に「自宅周辺」と記載されたり、被災状況などが書かれていたため、誰が見てもわかる正確な報告を記載する訓練も必要。	
10	出席確認ができなくても定時に開始する。	
オンライン会議・機器について		対応方策
1	オンラインについては緊急時に慌ててやってもうまくいかないため、オンラインで代替可能な会議については、平時からオンライン会議を行うようにすることで、事務局も含めてオンライン会議に慣れておく必要がある。	試行的にBCP検証検討会議をオンラインで実施する。
2	オンライン機器の使用について事務局が不在でも活動が維持できるよう、議員個人のスキル向上が必要。	
3	定期的なオンライン会議の開催など、日頃からオンライン機器の使用頻度を高め慣れておく。	
4	災害時を想定し、すべての活動をスマホで完結できるようにしてはどうか。	今後の訓練内容に適宜組み込んでいく。

その他の課題		対応方策
1	激甚被害時は今回のように電波や電力の供給が安定しているとは限らないため、それを前提に、さらにブラッシュアップした議論が展開されることを望む。	今後、訓練内容を検討する中で電力に頼らない対応も考えていく。
R 5 検証検討会議で出た意見		対応方策
1	発災しても議会 BCP 発動により議会がすぐに運営できることが重要である。	BCP の内容の見直しと合わせ、次年度以降の検討事項とする。 →検討し対応済。
2	BCP マニュアルは発災直後の行動については充実しているが、後日の動きがわかりにくい。	
3	感染症対策編に議会機能継続の記載はあるが、アクションカード・行動チェックリスト等、災害等の有事の際にとるべき行動が一目でわかるものが必要ではないか。	

5 議会機能継続計画(議会 BCP)地震風水害編の改正(別紙参照)

以下の改正を行う。

- 前書き 議会機能継続計画(初版)策定にあたり
⇒ 第20期で策定し、第21期で見直しを行ったことを追記
- 6頁 第1編 4議会BCPの発動基準
(1) 議会BCP発動の対象とする災害等と発動者
⇒ 「災害発生情報」から、「緊急安全確保」に修正
(28・41・46頁も同様)
- 10頁 第1編 7今後の課題
(3) アクションカードなどのスターターキットの準備
⇒ アクションカード作成済のため削除
- 11頁 第1編 7今後の課題
(6) 定足数が充足できない事態の具体的な対応
⇒ 感染症対策編を策定済みのため削除
- 10・11頁 第1編 7今後の課題
⇒ 上記(3)及び(6)削除により項番繰上げ
- 21・22頁 第2編 序章 4情報発信ガイドライン
(2) 議員個人の情報発信でも下記の事項に注意
⇒ タイトルの「オススメ」を「OK」に、「アカン」を「3つのアカン」、「7つのアカン」にそれぞれ修正、OKの内容に危険個所発見の行動を追加、アカンの表現を統一
- 30頁 第2編 第1章 第1 3議会BCP発動基準に基づいて初動対応
(5) 初動期の注意事項
⇒ 見出しの「オススメ」を「OK」に、「アカン」を「7つのアカン」に修正し、OKの内容に危険個所発見の行動を追加、アカンの表現を統一し、注釈31頁のタイトルを修正
- 31頁 第2編 第1章 第2 1安全確保と避難行動
⇒ タイトルの「積極的な支援活動」を「避難行動」に修正
- 51・52頁 第2編 第2章
(2) 応急対策期の主な活動
⇒ タイトルの「アカン」を「7つのアカン」と「3つのアカン」にそれぞれ修正し、アカンの表現を統一

- 60頁 第2編 第2章 第2 2 視察や外部支援を受入れ・調整
 - (1) 国会議員・政党等の視察を受入れ
 - ⇒ 「会派の代表者会議」の会派を削除
 - (68頁も同様)

- 62・63頁 第2編 第3章
 - (2) 復旧期の主な活動
 - ⇒ タイトルの「アカン」を「7つのアカン」と「3つのアカン」にそれぞれ修正し、アカンの表現を統一

- 73頁 第3編 1 会期直前や会期中に災害が発生した場合に備えて
 - (2) 会期前（招集告示後）
 - ⇒ 「継続案件」を、より詳しく表記するため「議案や継続調査事件等」に修正

- 76頁 第3編 2 会議中に災害が発生した場合に備えて
 - (1) 会議中の災害発生を想定した次第書を常備
 - ⇒ 委員会の次第書は本会議を流用して対応可能のため、次第書は本会議のみ常備していることから、委員会を削除し、合わせて委員長関係の説明も削除

- 109頁 第5編 資料集
 - 【資料1】会議中の災害発生を想定した次第書（本会議）
 - ⇒ 委員会の次第書は本会議を流用して対応可能のため、次第書は本会議のみ常備していることから、委員会を削除

- 113頁 第5編 資料集
 - 【資料1】会議中の災害発生を想定した次第書（本会議）
 - ⇒ 届出あった表現が重複しているため、表現を見直し

- 119頁 第5編 資料集
 - 【資料5】サイボウズ掲示板（安否連絡）操作方法
 - ⇒ 安否確認入力画面修正のため画像を差し替え

- 121頁 第5編 資料集
 - 【資料6】災害用伝言サービス「171」＆「web171」
 - ⇒ 災害用伝言サービスの利用方法の部分を大きく掲載し、震度6弱以上の地震発生時に利用可能になる注意文を追加

- 131頁 第5編 資料集
 - 【資料11】ブロック情報連絡票様式
 - ⇒ ブロック情報連絡票様式のLOGO フォームでの提出方法を追加

- 142・143頁 第5編 資料集
 - 【資料17】議場・委員会の代替会議室リスト
 - ⇒ 会議出席者数、北館3階の会議室を現状に合わせて修正
- 145頁 第5編 資料集
 - 【資料18】議会設備点検リスト
 - ⇒ リストに事務局のノートPCを追加
- 148頁 第5編 資料集
 - 【資料20】ヘルメット・懐中電灯・防災ラジオ等の議場配置図
 - ⇒ 組織改正の可能性もふまえ議場当局の座席の役職名を削除し、簡易担架の保管場所を現状に合わせて修正
- 153頁 第5編 資料集
 - 【資料22】芦屋市議会災害対策会議設置要綱
 - ⇒ 【資料22】削除のため当該資料の番号を「23」から「22」に繰上げ
(156頁も同様)

6 議会機能継続計画(議会BCP)感染症対策編の改正(別紙参照)

以下の改正を行う。

- 2・3頁 第1 1—1見直しの経過と目的
 - ⇒ 第20期で策定し、第21期で見直しを行ったことを追記
- 5頁 第1 4今後の課題
 - (2) 随時及び定期的な見直し
 - ⇒ 見直しに関する表現を修正
- 8頁 第2 1想定する感染症
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症を追記し、表現を修正
- 11頁 第2 3感染発生時の対応概要
 - ⇒ 保健所から指示のある期間について表現を修正
- 13頁 第2 4議員に感染者が発生したとき
 - (2) 市の対策本部と情報共有・連携、関係箇所の消毒
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症流行時の参考資料について、流行時点でのものであるため削除、消毒作業の必要性について、ウイルスの残存期間を考量する旨記載

- 15頁 第2 4議員に感染者が発生したとき
(7) 公表のための準備
⇒ 公表についての表現を追加
- 21～35頁 第2 5事務局職員に感染者が出たとき～6議員や職員の家族などに感染者が出たとき
⇒ 傍聴受付に関する内容、ポータブルアンプによる録音の必要性（ＩＣレコーダーで対応可能かどうか）を精査し修正。消毒作業の必要性について、ウイルスの残存期間を考慮する旨記載
- 45頁 第3 日常の備え
⇒ 新型コロナウイルス感染症5類移行後も対応する感染対策として消毒液の常設を記載
- 56～135頁 第5 資料集
⇒ 令和4年6月定例会以降の感染拡大防止対策を追加し、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が5類相当へ移行したことを記載。各種資料を最新の状態に差し替え5類移行後の厚労省のチラシを追加。

7 芦屋市議会ＢＣＰ＜概要＞の改正（別紙参照）

以下の改正を行う。

- 情報発信ガイドライン（抜粋）
⇒ タイトルの「オススメ」を「ＯＫ」に、「アカン」を「3つのアカン」に修正し、アカンの表現も修正
- 議会ＢＣＰの発動基準（抜粋）
⇒ 「災害発生情報」から、「緊急安全確保」に修正
- 災害時行動マニュアルの概要図（第2編 P.16～P.19）
⇒ タイトルの「アカン」を「7つのアカン」に修正し、アカンの表現も修正

8 芦屋市議会ＢＣＰアクションカード（別紙参照）

以下の改正を行う。

- 職員用 6頁 3 非常時用備品の確保
【参考】非常時用備品ＢＯＸ 内容一覧
⇒ 日付を令和7年に修正
(地震【本会議中発生】6頁、地震【委員会中発生】5頁も同様)

- 職員用 24頁 11 今後の災害対応体制を協議
 - 【参考】「芦屋市議会機能継続計画（議会BCP）～地震・風水害編～P73～75 抜粋」
 - ⇒ 地震・風水害編のP73の「継続案件」を、より詳しく表記するため「議案や継続調査事件等」に修正したことから、画像を差し替え
 - （地震【本会議中発生】14頁、地震【委員会中発生】15頁も同様）

- 職員用 27・28頁 11 今後の災害対応体制を協議
 - 【参考】「議場・委員会の代替会議室リスト【資料17】」
 - ⇒ 地震・風水害編の資料17を、会議出席者数、北館3階の会議室を現状に合わせて修正したことから、画像を差し替え
 - （地震【本会議中発生】17・18頁、地震【委員会中発生】18・19頁も同様）

- 地震【委員会中発生】 8頁 6情報収集・議会フロア点検
 - ④情報収集（議員・その他職員）
 - ⇒ 災害伝言ダイヤル171の説明画像を追加

- 議員用 地震【在庁時発生】 4頁 3正副議長室に避難
 - 【参考】
 - ⇒ サイボウズ安否連絡の方法を追加

- 議員用 地震【市内活動中】 6頁 4議会へ安否連絡
 - 【参考：サイボウズ安否確認】
 - ⇒ 安否確認入力画面修正のため画像を差し替え

- 議員用 地震【市内活動中】 10頁 4議会へ安否連絡
 - 【参考：災害伝言サービス】
 - ⇒ 災害用伝言サービスの利用方法について詳細に示した画像に修正

- 議員用 地震【市内活動中】 12頁 5議会の連絡を待つ・地域の支援活動を行う
 - 下記の行動を厳守！！
 - ⇒ 表現を修正し、語尾を「～しない」に統一

9 芦屋市議会BCPアクションカード 会議開催（別紙参照）

- 会議開催（議員用）
 - ⇒ 議員のみで会議を開催する場合のアクションカードを作成